

平成元年度 和歌山県文化奨励賞

よしだ やざ えもん
吉田 彌左衛門

住 所：和歌山県田辺市

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：大正7年

◎業績及び経歴

昭和8年に田辺市第2尋常高等小学校高等科卒業後、県内田辺中学の給仕をしながら独学、昭和12年から、南富田小学校準教員を務める。その後、古書店、小画廊の自営等の後、昭和25年より「あしべ」駅弁店に就職。現在に至る。

豆本製作は、豆本コレクターであった吉田氏が、還暦を機に、豆本への愛着とすたれゆく伝統和紙の保存を目的として自ら版元になり、昭和54年に製作を始める。

30集を目標に製作を始めたところ、郷土の文化や歴史を、保田紙、高野紙等伝統和紙で作られた作品が非常に好評を博し、第40集までの「続田奈部豆本」以後の「続続田奈部豆本」と続けられ、作家水上勉の特別寄稿を受ける等、現在継続して発刊されている和紙を使用した唯一の豆本として、注目を集めている。

平成元年9月には、初めて卷子本仕立ての第43集「十牛図」が刊行し、現在44集の「松平山城守」を制作中である。

豆本という、独特の文化を創造するとともに、本県の優れた文化、歴史を県内外に紹介し、また、地元作家の発表の場になる等、文化の振興、発展に尽くした功績は、大きい。